

仕様伺書

対象形式：PRP-2

お客様記入		弊社記入		営業部門	
形 式		JOB No.		承認	作成
貴 社 名		機 番			
お 名 前		営業担当			
注 番					

各設定項目に対して標準設定値から変更がある場合、設定可能範囲でご指定下さい。
標準設定値とは、一切のご指定がないときの値です。

項目名称	ご指定出荷時設定値	標準設定値	コメント
------	-----------	-------	------

■ハードウェアによる設定項目（端子カバーを外し、内部のSWにて設定します。）

作動	<input type="checkbox"/> 正作動 <input type="checkbox"/> 逆作動	逆作動	逆作動に選定時、入力信号減少で出力軸は全閉します。
入力信号断時、出力軸動作	<input type="checkbox"/> 信号断位置で停止 <input type="checkbox"/> 全開位置で停止 <input type="checkbox"/> 全閉位置で停止	信号断位置で停止	

■ハードウェアまたはソフトウェアによる設定項目

（端子カバーを外し、内部のSWまたはプログラミングユニットにて設定します。）

全閉位置 -5 ~ +50°、0.1% 単位	<input type="checkbox"/> 全閉 (0°) <input type="checkbox"/>	全閉 (0°)	全閉時の出力軸位置を指示します。
全開位置 40 ~ 95°、0.1% 単位	<input type="checkbox"/> 全開 (90°) <input type="checkbox"/>	全開 (90°)	全開時の出力軸位置を指示します。
出荷時出力軸位置 0 ~ 90°、0.1% 単位	<input type="checkbox"/> 全開 (90°) <input type="checkbox"/>	全開 (90°)	全閉位置を0°として、出荷時出力軸位置を指定します。

■ソフトウェアによる設定項目（プログラミングユニットにて設定します。）

閉リミッタ*1 -5 ~ +25%、0.1% 単位		0%	
開リミッタ*1 75 ~ 105%、0.1% 単位		100%	
全閉信号位置*1 0 ~ 25%、0.1% 単位		2.3%	全閉信号位置を使用される場合は指定して下さい。 全閉信号位置 ≥ (閉リミッタ + 0.5%)
全開信号位置*1 75 ~ 100%、0.1% 単位		97.7%	全開信号位置を使用される場合は指定して下さい。 全開信号位置 ≤ (開リミッタ - 0.5%)
開閉時間設定値 1、3、8、12、20			仕様伺書作成の手引きを参照して下さい。
不感帯幅設定値 0.1 ~ 5%、0.1% 単位	不感帯幅設定値 <input type="checkbox"/> 0.5% <input type="checkbox"/> 0.4% <input type="checkbox"/> 0.2% <input type="checkbox"/> 0.1% <input type="checkbox"/>	分解能 1 / 200 1 / 250 1 / 500 1 / 1000	0.3% 最大動作角度を100%として指定します。 設定値を大きくした場合、分解能が悪くなります。
再起動制限タイム 0 ~ 30s、0.1s 単位			2s

* 1、全閉、全開で設定した動作角度を100%として指定します。

仕様書作成の手引き

■設定項目と設定範囲について

①全開、全閉位置 (ITEM No.10、11)

最大動作角度の出力軸全開位置を 100 %、全閉位置を 0 % として、パーセンテージで入力して下さい。

注) 動作設定角度は 45° 以上の範囲でご使用下さい。

②開、閉リミッタ (ITEM No.12、13)

全開、全閉位置調整を行った角度を 100 % として、「ソフトウェアによる設定項目」の項を参考に設定範囲で設定できます。

③全開、全閉信号位置 (ITEM No.14、15)

全開、全閉位置調整を行った角度を 100 % として、「ソフトウェアによる設定項目」の項を参考に設定範囲で全開、全閉出力信号の出力位置を設定できます。

④開閉時間設定値 (ITEM No.19)

開閉時間を変更することができます。

下表を参考に設定して下さい。

DATA	開閉時間 (秒/90°)	トルク (N・m)	拘束トルク(N・m) 許容外となる
1	231	600	700
3	114		
8	64		
12	50		650
20	34		

注) 許容トルクは 600 N・m までです。

⑤不感帯幅設定 (ITEM No.20)

最大動作角度に対する不感帯を設定します。

設定範囲は 0.1 ~ 5 % です (設定値を大きくした場合、分解能が悪くなります)。

⑥再起動制限タイマ (ITEM No.21)

モータの過熱防止のため、モータが一旦不感帯に入って停止すると、次に起動するまでにインターバルを設けてモータの過熱を防止しています。

高温雰囲気でご使用される場合は、再起動制限タイマを長く設定して下さい。

設定範囲は 0 ~ 30 秒です。